

発刊の挨拶



現在、2022年7月22日この記録のまとめを開始しました。2019年の暮れに中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は変異を繰り返し現在オミクロン「BA.5」になって、国内感染者は第7次のピークになって国内過去最大となっています。ただし重症者の数はわずかであり、当初のように飲食や移動の制限などは行われていません。テニスコートも、当初のような、使用制限などはありません。またロシアによるウクライナ侵攻も続いており、これらの環境

により円安、物価上昇が続いています。こんな状況ですが、景気は悪い感じはしません。企業業績も改善しているようです。

一方個人的には2010年に日本シニアテニス連盟に入会すると同時に役員(副事務局長、事務局長、会長)を続けてきましたが2022年から役職を退任し顧問という形になっています。このため肩の荷が下りた状態で、趣味の写真撮影の旅とテニスを楽しんでいます(5日/週)。テニスの無いときは、畑仕事、読書、写真処理などしていますが、それでも時々時間が余ることがあるようになりました。このため、かねてから計画していた「(私編)V・Sテニス記録」を纏め始めることとしました。V・Sはベテランとシニアの頭文字をとりました。私は会社勤めをすべて終了したときに「(私編)那珂テニス部の半世紀」を纏めました。これは日立製作所那珂工場発足時(1961)から2010年までの半世紀の記録です。今回はこの続きとして、一部重複しますが、2007年から2022年までの記録を整理しました。この間の活動は、会社関係以外の団体クラブ(主に日本ベテランテニス愛好会、日本シニアテニス連盟)の活動が中心です。多くの団体で活動しましたが、年ごとに区別して纏めました。

また最後にHirose テニスDBを付録として付けました。このテニスDBは私がシニアテニス連盟の事務局を担当していた時、大会ごとに問題点をつぶしながら、また新規機能を付加させて改良してきたものです。その内容を少しでも残したいと考えて、付け加えました。

2023年1月16日 ひたちなか市中根 4898-4

廣瀬 博